

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひだまり（児童発達支援）				公表日	令和6年9月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		個別対応できるように個室ブースを設けており、クールダウンなどにも使用可能です。運動する際は衝立を移動したり、安全な環境で身体を動かせるようにしています。	今後も、日々の安全な活動のために広いスペースを確保できるように留意いたします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		配置基準より多くの職員を配置し、児童の安全を第一に療育を実施しております。	今後も安全に配慮し、十分な職員配置を継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		指導訓練室はタイルカーペット敷設しています。通所時の流れのルーティン化を行い、当日の流れを絵カードで示し、視覚的に分かりやすい工夫をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		施設内の清掃は毎日行い、4S（整理・整頓・清掃・清潔）を心がけています。入室時の消毒、スケジュールカード・玩具などはアルコール消毒を行っております。	今後も継続していきたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		カードを使用して子供達が自分の意志で行動できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		個別支援計画、アセスメントにおける会議の実施、ケース会議などを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年一回、事業所評価のアンケート行い、結果について協議し、改善するところがあれば行っています。面談の際、保護者の意見を伺ったり、送迎時など何気ないやり取りの中でのニーズを見つけながら改善できることに取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日、送迎前・送迎後にその日の様子を振り返り業務改善に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者委員会は設置しておりますが、現在のところ実施はありません。	必要に応じ、検討したいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			所内研修・外部研修など非常勤も含めて研修に参加する場を確保しています。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			HPに療育プログラムを掲載しています。		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		契約時、面談時や相談支援専門員との連携で保護者の意向を聞き、現在求められていることを把握し計画書作成に努めています。		
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		個別支援計画は職員全員で会議を参加し、意見を出して作成しています。		
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		利用時の記録はもちろんのこと、保護者の方から連絡があった家庭での困りごとなど個々に書きとめ、相談支援専門員と情報を共有できるようにしております。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		個別支援計画は、相談支援計画書をもとに保護者の方やご本人さんのニーズを汲み取り、発達検査の結果などの資料も参考にし、日頃の子供達の様子を職員全員で話し合う場を設けて作成しております。 今年度より5領域を更に組み込んだ支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員全員で検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		基本的な流れは変えないようにしていますが、内容は個々の能力に適した活動にしたり、みんなが楽しく参加できるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		5領域を踏まえて作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		その都度、様子・状況を指導員全員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		日々、その日の様子を振り返り改善することがあれば共有し、改善しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		通所したその日の様子を細かく記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		相談支援事業所のモニタリングで家庭での困りごと・様子、事業所での様子を踏まえ行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		管理者・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		協力医療機関は定めており重要事項説明書にも記載して契約時に説明しております。 相談支援事業所・福祉サービス事業所・保育園・幼稚園・学校と担当者会議や送迎時に情報共有し連携しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		送迎時に必ず園の先生とその日の情報を共有し、支援会議の出席などで情報共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		担当者会議に出席したり、相談支援を通じて情報提供しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		支援センター等の研修は最近受けてないが担当者会議等で情報共有し支援に繋がっています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4		事業所として催し等の交流の場を提供していませんが個々に交流されています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時でその日の様子を伝えたり家での様子を聞いています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		家族の参加できる研修は行っていません。個別に困りごとなどの相談があれば、その都度、対応しております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時、重要事項説明書に沿って説明しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		個別支援計画は、相談支援計画書をもとに保護者の方やご本人さんのニーズを汲み取り、発達検査の結果などの資料も参考にし、日頃の子供達の様子を職員全員で話し合う場を設けて作成しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		今年度より5領域を更に組み込んだ支援計画を作成しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談は年二回(3月・9月)に行い、個々に相談があれば保護者との面談や電話相談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			今年度、法人全体でイベントを開催しましたが、反省点もありました。今後も開催し、交流する場を設けたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		個々に相談があれば保護者との面談や電話相談を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		不定期ですが、保護者の方に発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人ファイルは全て鍵付き書庫に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		絵・写真・文字で情報を伝えるようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		事業所単位ではなく法人行事として今年度から取り組みを行っています。どのような施設か見学希望があればその都度、資料を作成し見学も行っていきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		事業所で策定しており、所内にマニュアルを提示しています。今年度は事業所の避難訓練だけでなく、消防署の方に事業所に来てもらい体験をする予定です。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPの策・委員会の設置・会議・災害(火災・津波・地震)を想定して避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		見学時に簡単な情報と契約時に児童調査票にて記入いただいて確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食事の提供はないが、契約時にアレルギーの確認は児童調査票にて確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画は作成し、市町村に提出しています。車両に関しては安全装置の取り付けも行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			送迎場所・時間の確認と緊急連絡先の確認はしているが、安全計画の取組内容は業務改善計画(BCP)の避難訓練・避難訓練・消防点検の説明は契約時に説明していますが、周知がどの程度までかを確認したいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット・事故・苦情・相談報告書は作成し、本部へ報告・指導員全員で情報共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を設置し、虐待防止チェックリストを職員全員が行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		令和4度より身体拘束等の適正化のための指針・同意書を作成しています。	